

3. 限りなき前進 ～Ever Onward～

当社グループは、7,500kmを超える鉄道ネットワークの中に、約1,700の駅、生活サービスの店舗、そして様々な魅力を持つ沿線を有しています。また、毎日、安全かつ安定的に列車を運行し、行き交うお客さまに様々な生活サービスを提供するための技術・知識・経験という経営資源があります。さらに、2001年に登場したSuicaは、いまや生活に不可欠な社会インフラとして、鉄道利用のみならず、多様な生活シーンでご利用いただくまでに成長しました。これらは、グループの成長につながる大きな可能性を有しています。

そして、当社グループの何よりの財産は、事業運営を支えるグループ全社員一人ひとりです。しかも、一人ひとりの能力には、まだまだ多くの「伸びしろ」があります。私たちは、会社発足以降、東日本大震災をはじめとした自然災害や景気の落ち込みによる収入減など、様々な試練に直面しました。そのときに発揮されたグループ全社員の「底力」こそが、経営資源の持つ可能性を引き出す「鍵」となるのです。そのために、既存の事業に加え、技術革新やグローバル化をはじめとした新たな舞台を用意し、意欲をもった社員が能力を伸ばし、活躍できる機会を積極的につくっていきます。

仕事を通じて、社員一人ひとりが成長することが、グループの成長を実現する、そしてさらに活躍の場が広がることにより、社員の一層の成長のチャンスが生まれる。こうした「社員一人ひとりの成長」と「グループの成長」を重ね合わせ、サイクルをまわしていくこと、それが「限りなき前進～Ever Onward～」です。

東日本大震災を「第二の出発点」とし、6つの「志」が指し示す経営の方向性に沿って、JR東日本グループの、そして一人ひとりの「限りなき前進～Ever Onward～」がはじまります。

